

第4回 GPPN Student Conference への派遣学生募集要領

平成21年9月15日

2009年11月11日から13日まで、シンガポール国立大学リー・クアンユー公共政策大学院を主催校として開催される、GPPN Student Conference に参加する学生を募集する。

応募人数 発表者 6チーム、合計10名から12名

応募要件

1. 応募、及び派遣時点において、公共政策教育部に在学していること
2. TOEFL、又はIELTS等の公式スコアにより、十分な英語力の証明ができること
3. 世界各国の学生との国際交流活動、ネットワーキングに意欲があり、またConferenceにおいて英語での討議に積極的に参加できる意欲があること
4. 以下のトピックに関連する事柄について発表した経験があり、内容について事例研究の担当教員から事前に推薦が得られること
 - ① Good governance as institutional sustainability
 - ② Economic and environmental sustainability
 - ③ Human and social development for sustainable development
5. 原則として全日程に参加し、プログラム修了後に参加報告書を作成できること

応募方法

派遣申請調書兼奨励金支給申請書、および誓約書をホームページからダウンロードし、Eメールにて pryugaku@pp.u-tokyo.ac.jp まで送付すること。TOEFL等の成績証明書(写)は、入学試験時に提出したTOEFLの証明書(申請日から過去2年以内に受験したものに限る)を差し替える場合のみ、スキャンした成績証明書の画像ファイルを添付すること。なお、スキャンが難しい場合は、表に「GPPN 学生会議参加申し込み」と記した封筒に名前・学籍番号を記入し、英語スコアの証明書の写しのみ封入して公共政策大学院係に預けること。TOEFL以外の英語能力試験の証明書を添付する場合も同様とする。

応募期間

平成21年9月15日(火曜日)から同年10月7日(水曜日)正午(必着)

選考・発表

募集受付終了後、事例研究担当教員の推薦を参考に、国際連携委員会にて決定する。選考の過程で公共政策大学院国際連携委員による面接を行う場合がある。最終合格者の発表はホームページ上で行う。合格者には教育部より、Eメールにより奨励金支給手続きに関する連絡を行う。

諸経費・渡航手続き等

参加旅費の補助として一律100,000円を奨励費として当教育部国際化推進プログラム寄付金より支給する。航空券、ホテル、ビザ等渡航に関する手配は、派遣決定後各自の責任において行うこととする。査証申請が必要な場合(但し、日本国籍の場合は不要)は、申請経費は自費負担とする。また、食費は主催者プログラムに含まれていないものに関しては、原則自費負担とする。

注記

本プログラムへの参加は学生の自主的判断によるものであり、公共政策学教育部の教育プログラムとはみなされない。よって、本プログラムに参加期間中に講義、演習等を欠席することになった場合、特段の措置は執られない。出席点がある場合等は、担当教員に事前に相談すること。派遣期間は11月10日から14日(13日現地発)の予定である。なお、奨励金の振込日は、帰国後となることもあるので注意すること。